

森林経営計画策定指導会を開催しました！ ～森林経営専門家派遣事業を活用～

1 はじめに

岩泉林務出張所管内は、広葉樹資源が豊富でチップ材生産を行う林業事業者が多く、中には発電用の木質バイオマス燃料への供給を行っている事業者もあります。

バイオマス燃料へのチップ材販売は、森林経営計画策定森林から出材するといわれる「32 円材」として取引され、一般材の「24 円材」の1.3 倍の価格で有利に販売できることから、管内で計画策定を希望する林業事業者が多くあります。

このことから、今般、森林経営専門家派遣事業を活用し、管内林業事業者を対象に森林経営計画策定指導会を行いましたので、その概要を紹介します。

2 指導会の概要

- (1) 月日：令和3年1月26日(火)
- (2) 場所：事業者事務所(株ふるさと木材)
- (3) 主催：岩泉林務出張所
- (4) 参加：4名(うち2名は県普及指導員等)
- (5) 講師：神 大士 氏(県森連職員)
(岩手県森林施業リーディングプランナー)
- (6) 指導内容：森林経営計画策定



3 指導状況等

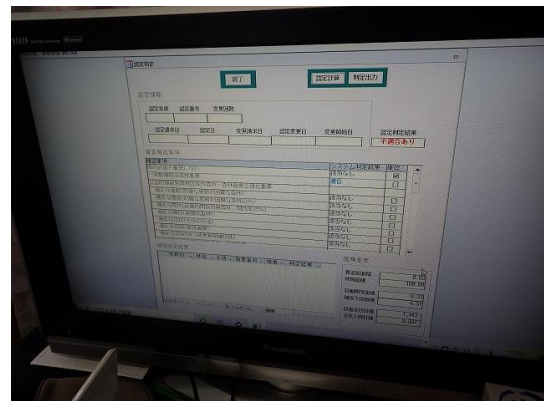
講師から森林経営計画の策定のメリット、森林整備事業補助金との関連及び策定の注意点などの講義を受けた後、森林経営計画管理システムを操作し、実際の作成業務方法を学びました。

なお、県の林業普及指導員と森林整備補助金の担当者も同席したことから、補助金申請の採択基準や書類作成手続きなども同時に指導できました。

4 おわりに

指導会により森林経営計画作成のテクニックとコツを習得し、受講事業者から「早速策定してみる。」との意欲的な発言があり、自ら計画策定ができる状態になったと認められました。

今後も、計画策定を希望する林業事業者にこのような機会をつくり、経営上有利となるよう支援していきたいと思っております。



上写真 策定システムによる適否判定

左写真 航空写真での林況確認